

事務事業評価シート(平成27年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

Table with columns: 事務事業コード, 事務事業名, 担当課, 担当係名, 所属長(課長等)名, 担当係長名, 建設水道課, 下水道工務係, 小野 耕一, 田中 博, 一次評価年月日, 平成 28 年 6 月 30 日, 連絡先(内線), 2167, 会計区分, 予算コード, 事業名(歳出予算見積書), 第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ, 関連する計画等への位置づけ, 事務期間.

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

Form with sections: ①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。 ②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。 ③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

Table with columns: 区分, 単位, 実績値 (26年度, 27年度), 計画値 (27年度(見込み), 達成率), 最終目標年度 (27年度(見込み)). Rows include: ① 指標名: 管路内施設点検実施箇所数, ② 指標名: 管路点検延長.

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

Table with columns: 区分, 単位, 実績値 (26年度, 27年度), 計画値 (27年度(見込み), 達成率), 最終目標年度 (27年度(見込み)). Rows include: ① 指標名: 異常箇所発見数, ② 指標名: 舗装補修実施率.

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

Table with columns: 平成25年度決算, 平成26年度決算, 平成27年度決算. Rows include: 〇総事業費(コスト概算) = ①+②, 対前年比, A)その他の財源, B)一般財源(税金), ①事業費, ②人件費の概算, 課長, 課長補佐, 係長, 一般職員, 延べ人数, 町職員(正規職員), 非常勤等職員(臨時職員).

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 区などからの舗装補修要望
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性はありますか	C	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。)	28年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
引き続き、管路調査最適化研究の成果をもとに、効率的・効果的な点検調査を実施する。修繕が必要な箇所は、修繕工事を実施する。	[反映内容] 管路調査費、管路及び舗装修繕費

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
下水道を継続的に安全・安心して利用するために必要な事業。計画的な管路調査を実施し、保全に努める。	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記〈今後の展開方針〉 a~e を選択